

# 自立と社会参加をめざして

京都府立城陽支援学校 通学高等部

## 1 教育目標

- ・いのちを大切に生きて生きる力を育てる
- ・心豊かにたくましく生き抜く意欲と態度を育てる
- ・自立し社会参加する力を育てる

## 2 通学高等部のめざす学び

- (1) 通学高等部では自立と社会参加をめざし職業教育を充実させています。
- (2) 企業現場での実習や作業学習など具体的、体験的な学習を通して、働くことへの意欲や職業観を育てます。
- (3) 学年進行制のもと、「自立」にむけて段階的にスキルや能力を養い、体力や精神力を高め、集団の中で自信を身につけ社会性を育てます。



## 3 職業教育の4本柱

### (1) 作業学習

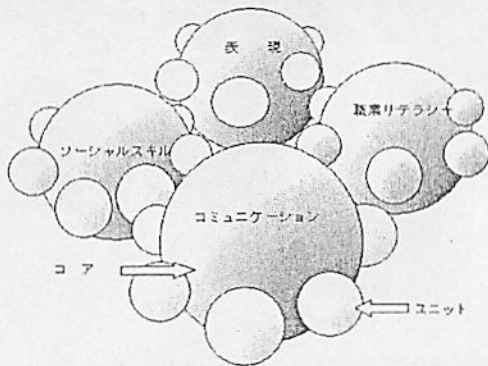
木工・窯業・縫製の3コースを設定し、週9時間（1日作業・半日作業）で全コースをローテーションで体験し、具体的な物作りを通して、働くために必要な知識や技能、態度や姿勢を学びます。そして、仕事に向き合う気持ちや就労に求められる力を総合的に育てます。

### (2) 教科学習等

地域で働き暮らしていくために必要な力の育成をめざし、日常の生活力やコミュニケーション能力、余暇の過ごし方などを含めて、生徒個々の課題や教育的ニーズを大きく4つに分けて教えています。

4つのコアを中心にいくつかのユニットを構成し、相互に関連しながらコア自体の拡大をめざします。

この4つをバランス良く育成することで、就労能力の向上を図ります。



#### 【コミュニケーション】

「国語」や「英語」の内容を中心に、言語活動全般の力を伸ばさせることを目標に、『表現基礎』、『表現活動』として学習をします。

#### 【職業リテラシー】

「数学」、「職業」、「家庭」などの内容を中心に、就労に必要な基礎的能力を身につけることを目標に、『職業基礎』、『数量実務』として学習をします。

#### 【ソーシャルスキル】

「社会」、「理科」、「保健体育」などの内容を中心に、社会生活に必要な基礎知識を具体的に学ぶことを目標に、『生活社会』、『健康』として学習をします。

#### 【表現】

「美術」、「音楽」として、芸術に親しみ、自己表現の楽しみを学ぶとともに、卒業後の余暇の充実について文化的な力を身につけることを目標に学習をします。



### (3) 販売学習

作業学習で製作した製品を地元スーパーや「ふれあい・心のステーション」でお客様に対面販売することで、接客態度を学び、お客様からの声を直接伺って製品作りに反映させます。また、製品を買っていただくことによって、達成感や責任感、さらには自己有用感を養います。



### (4) 現場実習

企業の現場で実際に働くことで労働のイメージをつかみ、働き続けるために求められる力を体感し学ぶ機会としています。また、グループ実習から個人実習、3日から2週間、3週間とステップアップを図りながら実践的な力を育てます。



## 4 進路指導

### (1) 進路指導の基本方針

生徒一人一人が自らの良さや能力について理解を深め、豊かでよりよい生き方や望ましい職業観・勤労観を身に付け、自らの進路を選択し、決定できる力を育てる。

### (2) 各学年の進路指導の流れ

#### 【1年】体験を通して就労への理解を育てる

- ・校内実習（12月）
- ・現場実習3日間（2月）「グループ」
- ・学年末懇談会

#### 【2年】就労にむけての自己課題と目標をもつ

- ・現場実習2週間（6月）「1職場1人」
- ・現場実習3日間（2月）「グループ」
- ・学年末懇談会

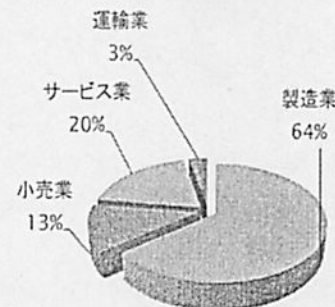
#### 【3年】自信と展望を持って進路を選択し、決定する 社会人としてのマナーや心構えを学習する

- ・現場実習3週間（5月）「1職場1人」
- ・前期進路相談（6月）（生徒、保護者、ハローワーク、学校）
- ・企業での就職を前提とした職場実習（7月～）
- ・後期進路相談会（求人票の確認）



### (3) 卒業生の進路先（H2年度～H24年度）

進路先	総数	男	女		
企業就職	330	220	110	製造業	215
障害者高等技術専門学校	11	10	1	小売業	43
専門学校	6	6	0	サービス業	65
福祉就労	21	11	10	運輸業	11
その他	7	4	3		
卒業生合計	375	251	124	合計	330



## 5 卒業後の支援

同窓会を設置し、卒業後にも学校に相談できる体制を整備しています。

同窓会総会、バーベキュー、ボウリング大会の年3回の活動と余暇活動の支援として、バスケットボールチームを創設（月2回の活動）。

